

第14回全日本ブラインドセーリング選手権

(兼 2019 Blind Fleet Racing World Championships 予選)

帆走指示書 (SI) – Addendum Q

1. 適用規則

- (ア)国際セーリング競技規則 2017-2020 (RRS) に定義された規則を適用する。
- (イ)全てのレースに、一部修正をした WS Addendum Q『アンパイア制 フリート・レース規則』を適用する。Addendum Q は別紙に掲載する。
- (ウ)JBSA 安全委員会作成の『JBSA 事故防止対策特別規則』を適用する。
- (エ)J-24 クラスルールおよび外洋特別規定は適用しない。

2. 競技者に対する通告

競技者に対する通告は、レース本部（マリーナ東海・事務所）に設置されたポールおよび公式掲示板により行われる。

3. 帆走指示書の変更

- (ア)帆走指示書の変更は各レース日の最初の予告信号の 60 分前までに公式掲示板に掲載される。
- (イ)レース日程の変更は、前日の 18:00 までに公式掲示板に掲載される。
- (ウ)海上において変更する場合は、本部艇は L 旗を掲揚し、予告信号前に口頭により、各艇に通告する。

4. レースの日程

5月25日(土)	11:25	最初のレースの予告信号・ 引き続きレースを実施する。
		15:30 を過ぎての予告信号は発せられない。
5月26日(日)	09:25	最初のレース予告信号・ 引き続きレースを実施する。
		13:00 を過ぎての予告信号は発せられない。

5. レース旗

レース旗は JBSA 旗（小）とする。レース旗は、レース中はバックステーに掲揚し、その位置は下端がデッキから 1.5m 以上とする。

6. レースエリア

マリーナ東海沖遊走区域内とする。

7. コース

別紙 [図1] 参照。

8. マーク

マークは次の通りとする。

(ア)スタート・ラインおよびフィニッシュ・ラインに位置する本部艇または運営艇および円筒形ブイ。

(イ)三角錐ブイの風上回航マーク①および風下回航マーク②。

なお、回航する各マークには、①、②の記載はない

9. スタート

(ア)レースは、RRS26 を用いて、全艇同時にスタートとする。

(イ)スタート・ラインは本部艇のオレンジ旗を掲揚したマストまたはポールと反対側となる円筒形のブイの間とする。

(ウ)予告信号はスタート信号の 5 分前に音響信号 1 声と共に JBSA 旗を掲揚する。

(エ)予告信号が発せられた後は、エンジンを停止し、船外機をアップした状態としなければならない。[DP]

(オ)スタート信号から 4 分経過後にスタートする艇は DNS と記録される。(付則 A4 の変更)

10. (個別) リコール

リコールの場合には、本部艇は音響信号 1 声と共に X 旗を掲揚する。

X 旗は全リコール艇がスタート・ラインまたはその延長線のプレ・スタート・サイドに完全に入るまで掲揚している。

但し、X 旗はスタート信号から 4 分経過後に降下する。

11. ゼネラルリコール

ゼネラルリコールの場合には、本部艇は音響 2 声と共に第一代表旗を掲揚する。

次の予告信号は第一代表旗を降下（音響信号 1 声）1 分後に発する。

12. スタートの延期

スタートを延期する場合には、本部艇は音響信号 2 声と共に AP 旗を掲揚する。

次の予告信号は、AP 旗降下（音響信号 1 声）1 分後に発する。

13. レースの中止

レースを中止する場合には、運営艇は音響信号 3 声と共に N 旗を掲揚する。

次の予告信号は N 旗降下（音響信号 1 声） 1 分後に発する。

14. コース短縮

コースを短縮する場合には、運営艇は音響信号 2 声と共に S 旗を掲揚する。

フィニッシュ・ラインは S 旗および青色旗を掲揚した運営艇のマストまたはポールと回航マークの間とする。

15. コースの次のレグの変更

次のレグを変更する場合には、先頭艇がレグを帆走する前に回航マークにおいて、運営艇が C 旗を掲揚し、反復音響信号を発して、次のマークのコンパス方位を掲示する。

但し、次のレグの短縮または延長については掲示しない。

（RRS33 の変更）

16. フィニッシュ

フィニッシュ・ラインは本部艇のオレンジ、または運営艇の青色旗を掲揚したマストまたはポールとライン・マークの間とする。

17. ペナルティー方式

RRS44. 1 における『2 回転ペナルティー』は、WS Addendum Q に基づき『1 回転ペナルティー』に置き換える。

18. タイムリミット

RRS28. 1 に従ってコースを帆走したトップ艇のフィニッシュ時刻から 20 分以内にフィニッシュしなかった艇は、DNF と記録される。

（RRS35・付則 A4 および A5 の変更）

スタートからマーク①までの先頭艇のタイムリミットは、20 分とする。その時間内に一艇も廻航できなかった場合は、レースを中止する。

19. 抗議・救済の要求

(ア)レースは、SI 1(イ)に基づき WS Addendum Q を適用したアンパイア制で行う。

(イ)以下の SI 違反については艇による抗議の対象とはせず、Addendum Q に基づくアンパイアが発議するペナルティーまたは抗議の対象とする。

SI 9 (エ) エンジンの停止

SI 21 桜マークあるライフジャケットの着用

SI 23 艇の調整の制限

SI 24 サイテッドスキッパーの義務

20. 得点・順位

RRS 付則 A4 低得点方式を適用する。

但し 5 レース以上完了した場合は、シリーズで最も悪い得点を除外することができる。

21. 安全（ライフジャケットの着用）[DP]

乗員は、全員、艇がバースを離れてから帰港してバースに着くまでの間、国の安全基準に適合した(桜マークのある)ライフジャケットの着用をしなければならない。(RRS40 の変更)

22. 公式運営艇（識別旗）

(ア)本部艇はオレンジ、運営艇はピンクのフラッグ

(イ)ジュリー／アンパイア・ボートは白旗に黒で JURY

23. 艇の調整の制限 [DP]

レース艇は、次の場合を除き、貸与された時の状態で使用し、如何なる調整も行ってはならない。

(ア)艇に風見（紡ぎ糸や、より糸を含む）を付けること。

(イ)艇体を水洗いすること。

(ウ)バックステー及びブームバングを調整すること。

24. サイテッドスキッパーの義務 [DP]

(ア)各艇のサイテッドスキッパーは、毎回、出艇する時と帰着した時には、レース本部にある所定の申告書に記入し、同本部に提出しなければならない。

(イ)各艇のサイテッドスキッパーは、艇体および備品等が損傷または紛失した場合には、当該レース終了次第、海上においてピンクフラッグをバックステーに掲揚して、その旨をレース委員会に直ちに報告し、レース委員会の指示を受けなければならない。

25. 賞

(ア)1 位～3 位のチーム（全員）に賞を授与する。

(イ)上位入賞 3 艇のヘルムスパーソンは

『 2019 Blind Fleet Racing World Championships 』への参加および上位艇から出場クラスを決めることができる。

上位艇が出場を辞退する場合は下位艇に順次繰り下げる。

26. 責任の所在.

- (ア)レースに参加するか、レースを継続するか、その決定の責任は各艇のみにある。
- (イ)大会の前後および期間中に発生した乗員および艇に関わる事故については、その責任は各チームが負うものとし、本大会の主催・後援・協賛等の諸団体は、如何なる責任も負わない。
- (ウ)各チームは、主催者より貸与された艇・備品等については、善良な管理者としての義務を負うものとし、艇の損傷に因る修理等については、その責任は各チームにある。

27. レース本部（マリーナ東海・ミーティングルーム）

開設時間：5月25日(土) 08:30～18:00

5月26日(日) 08:30～15:00

電話番号：090-9804-2310（中尾）

以上

[図 1] コース :

コースは 5 レグコースとする。

スタート → ① → ② → ① → ② → フィニッシュとし、マークを左舷に見て回航（反時計廻り）する。下図を参照のこと。

*スタート後は、本部艇とリミットマーク間の通過について制約はないものとする。

